

4月の予定

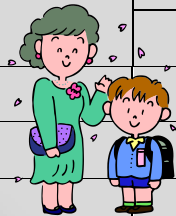
転入職員のお知らせ

今年度より、下記の職員が学園に転入となりました。よろしくお願いたします。

校長	中村 裕幸
白川村立白川郷学園 副校長	
副校長	深山 学
飛騨市立古川中学校より	
教頭	木下 広雄
高山市立荘川中学校より	
教諭	小林 雅士
高山市立山王小学校より	
教諭	橋田 怜
下呂市立馬瀬小学校より	
教諭	河渡恵弥子
高山市立清見中学校	
教諭	杉澤 美紀
郡上市立高鷲中学校	
教諭	早川 雅輝
新規採用	
養護助教諭	黒木亜由美
高山市立本郷小学校より	

日	曜	主な予定	最終下校		部活	
			前期	後期		
1	月					
2	火					
3	水					
4	木					
5	金	入学式準備 (新8,9年生)				
6	土					
7	日					
8	月	着任式・後期課程進級式 始業式・入学式	1年生 下校	12:00	12:00	×
9	火	発育測定 通学班集体会	15:15	15:15	17:30	○
10	水	7,8年実力テスト	13:30	16:15	16:35	×
11	木		13:30	16:15	17:30	○
12	金		13:30	16:15	17:10	学級
13	土					☆
14	日	NHKあなたのまちで岐阜オンステージ放映13:05~				☆
15	月			15:15	16:35	×
16	火	5年早下校 (20日の振替)	1,5年 13:30	2346年 16:15	17:30	○
17	水		1~3年 15:15	4~6年 16:15	16:35	×
18	木	全国学力学習状況調査(6,9年) 知能検査(2,5,7年) 委員会	1~4年 15:15	5,6年 16:15	17:30	○
19	金		1年 15:15	2~6年 16:15	17:10	学級
20	土	クロサンショウウオ放流 (5年)				☆
21	日	NHKあなたのまちで岐阜オンステージ放映13:05~				☆
22	月	職員会議		15:15	15:15	×
23	火	交通安全教室(1,2,3年)	1年 15:15	2~6年 16:15	17:30	○
24	水	学園総会	1~4年 15:15	5,6年 16:15	16:35	×
25	木	交通安全教室(4,5,6年)	1~3年 15:15	4~6年 16:15	17:30	○
26	金	新1年生を迎える会 授業参観・PTA総会・学級懇談会		14:45	14:45	×
27	土					☆
28	日					☆
29	月	昭和の日				☆
30	火	国民の祝日				☆

進級
おめでとう



5月 主な予定

- 7日(火) 4月学費口座振替日
- 7日(火)~9日(木) 家庭訪問
- 10日(金) 村教育会総会
- 13日(月) 命を守る訓練
引き渡し訓練
- 15日(水) 体力テスト
- 16日(木) クラブ
- 18日(土) 国際茅葺き会議
(授業日)
- 20日(月) 振替休業日
- 23日(木) 北方南小交流(5年)
- 24日(金) 検査1次
- 25日(土) PTAリサイクル
- 27日(月) 心電図検査(1,4,7年)
- 28日(火) 5月学費口座振替日
- 28日(火)~29日(水) 6年修学旅行
- 30日(木) 琴臣先生授業

保護者の方々による春の交通安全指導は、5月全国交通安全週間に合わせて行います。詳細は後日お知らせします。





ワクワクあふれる義務教育学校

白川郷学園

ひとりだち

自立・共生・貢献

白川郷学園だより 年度初め号
平成31年 4月8日

ホームページ
<http://school.shirakawa-go.org>

子どもたちの「夢」「ひとりだち」を応援します

校長 中村 裕幸

「平成」から「令和」へ

4月1日、正午前、新元号が発表されました。そんな新しい時代の幕開けとともに、義務教育学校白川郷学園の3年目が始まりました。

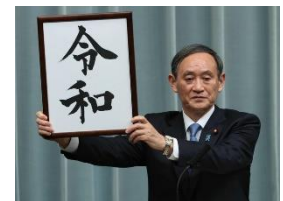
斜め下の写真の官房長官の掲げる「令和」を揮毫されたのは、すでに、新聞紙上やテレビ報道で話題になっています内閣府辞令専門官で書家の茂住青邨（もずみ せいそん）さんです。

学園には、茂住さんの書が、何と3枚もあります。（こんな学校は、全国にないでしょう。）児童生徒玄関（ひとりだちホール）に2尺×6尺の「ひとりだち」、会議室に「郷」、校長室に「夢」が掲げてあります。（「夢」は



学園集合写真（ひとりだちホール）※一昨年の写真

今後、「夢ホール」に移動します。）さらに、2年生以上の皆さんは、昨年度、7月13日に、茂住さんから直接「書」を学びました。そのときの題材は、「ゆめ」「夢」でした。私は、新元号の揮毫者が「茂住青邨さん」と知ったとき、本当に誇らしく思いました。それは、茂住さんが、郷土（飛騨古川）の先輩であり、そして、「書道教室」を通して、学園の子どもたちと直接関わっていただくことができた、身近な方（失礼かもしれませんが）になったからです。白川郷学園でしかできない貴重な「体験」でした。



「本物体験」をつないで「ひとりだち」へ

学園は、この2年間、こうした世界に、未来に通じる、「本物体験」ができる行事・教育活動を実施してきました。例えば、白川村観光大使である二胡奏者の「ウエイ・ウエイ・ウーさん」、南極昭和基地より「土屋達郎さん」、世界中の子どもたち等の作詞・作曲者「新沢としひこさん」、和心の学習「花柳琴臣さん」等々です。他にも、大学から講師を招いて講話を聞いたり、企業から技術者を招いて実体験をさせていただいたりするなど、他校では体験できない活動を仕組んできました。「行事が多いのでは？」という声もあります。しかし、子どもたちは、「本物体験」で、他市町村との「交流活動」で、



ふるさとの原風景を歩く子どもたち（昨年の写真）

人前で話す（説明する）こと、プレゼンすること、本当に力をつけてきました。それは、そこから新しい知識を学ぶだけではなく、子どもたちが、夢を抱き、自分の進む道を、自分で選び、自分の力で突き進んでいくためのきっかけづくりとなっているからなのです。この1年、子どもたちのスキルアップのために「村民学」とともに「本物体験」を意味ある活動として進めていきます。子どもたち一人一人に「ひとりだちの教育」を展開するために、保護者の皆様、地域の皆様、どうぞ白川郷学園の教育に力をお貸しください。よろしくお願い申し上げます。